

SEIKO

Time Server

Pro. ■

TS-2950 TS-2910

うるう秒動作解説資料 PTP編

2016年11月24日

ネットワークソリューション統括部

セイコーソリューションズ株式会社

うるう秒について

今年のうるう秒の調整は、2017年1月1日 午前8時59分59秒と午前9時00分00秒の間に「8時59分60秒」(日本時間)※1を挿入します。

本書は、弊社Time Server Pro. TS-2950、TS-2910に関する、うるう秒時の動作および注意点をまとめた資料となっております。本書の内容をご理解いただき、適切な設定でタイムサーバを運用していただきますようお願い申し上げます。

うるう秒に関する一般的な情報は国立研究開発法人 情報通信研究機構（日本標準時グループ）にて公開されていますので、以下のURLをご参照ください。

報道発表資料

<https://www.nict.go.jp/press/2016/07/08-1.html>

うるう秒の対応（2012年7月実施版）

<http://jyy.nict.go.jp/news/leaps2012.html>

うるう秒に関するQ&A（2009年1月実施版）

<http://jyy.nict.go.jp/QandA/reference/leapsec-addendum2009.html>

本書では特に記載がない限りは日本標準時（JST）を使用し24時間制で記載しております。

※1 PTPはTAIで時刻を配信している為、うるう秒の調整が行われてもPTP動作に影響はございません。

タイムサーバうるう秒対応状況

Time Server Pro. TS-2950、TS-2910シリーズはうるう秒に対応しています。

うるう秒の動作について

- 時刻源よりうるう秒情報を自動取得し動作します。
うるう秒実施の12時間前よりAnnounceメッセージにleap61(1秒挿入予告)をセットします。

| 時刻源 | 機種 | 動作状況 |
|------|--------------------|---|
| GNSS | TS-2950 TS-2910 | うるう秒自動取得 ・ Announceメッセージ leap59(1秒削除) leap61(1秒挿入) |

うるう秒設定方法 TS-2950、TS-2910

PTPはTAIで時刻を配信している為、うるう秒調整の設定はございません。

- ※ : Announceメッセージのleap Second Offsetにうるう秒のオフセット時間を表示し報知を行います。
SLAVE側はこの情報を使用してUTCに変換します。

注意事項

- (1)うるう秒実施の前の12月31日～1月1日は再起動などを行わず、電源を投入したままでご使用ください。電源OFFした場合は、うるう秒実施後1月1日午前9時以降に電源を投入してください。

よくある質問

Q. うるう秒の情報をとれない場合の動作はどうなりますか？

A. Announceメッセージにある時刻情報： leap59(1秒削除)、 leap61(1秒挿入)の値が無効の状態の為、 FALSEと表示してSLAVE側に報知します。

Q. うるう秒の情報がとれている場合、 leap59、 leap61にTRUEがセットされる期間は？

A. うるう秒の12時間前からleapフラグをONにします。2017年1月1日午前9時と共にleapフラグをOFFにします。

SEIKO

セイコーソリューションズ株式会社